

■科目名			
教育方法・技術論 Educational Method			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職理解科目	教育学	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
1	4期		前後
■担当教員			
平野拓朗			
■代表教員名及び連絡先等			
平野拓朗 hirano@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
水曜日 4限			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
<p>本講義では、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法・技術、情報機器および教材の活用に関する基礎的な知識・技能を身に付けることを目的とする。</p> <p>内容としては、学習指導案の基本的理解を踏まえた上で、「対話的・主体的で深い学び」をデザインする授業について、理論的・実践的なアプローチから理解する。</p>			
■授業の到達目標及びテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育の方法・技術をめぐる現代的課題を判断することができる ○ 教育の方法・技術に関する基本的な概念を説明することができる ○ 教育の方法・技術に関する理解を踏まえて、学習指導要領を作成することができる 			
■授業計画			
第1回:教育方法・技術の基礎理論と実践 第2回:学習指導案の理解 第3回:学習指導案の作成 第4回:主体的・対話的で深い学びの理論 第5回:協働学習・及びグループ学習の理論 第6回:情報機器・教材の効果的な活用 第7回:学習指導案の省察 第8回:教育方法・技術の現代的課題			
■授業外学習（予習・復習）			
各回の講義資料から疑問に思うこと、関心のあることを見つけ、より深く探究する。また、予習・復習において学び直した内容を各回のワークシートに反映する。			
■受講要件			
■成績の評価基準			
(模擬授業やワークシート等を含む) 授業への参加 (50%) と学習指導案を含む授業づくりに関する発表、または提出物 (50%) で評価する。			
■教科書・参考書			
使用しない(資料を適宜配布する)。			
■教師としての資質能力に関するチェック項目			
3. 教育方法に関する理解 【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析など、指導法や授業改善について理解している 4. 学校経営およびその課題に関する理解 【A教職の理解】学校経営およびその課題（危機管理等）に関する基本的な知識を身に付けており、学校運営の在り方等について構想することができる 5. 協働実践力 【B連携協働力、自己改善力の育成】集団の中で、役割に応じてリーダーシップを発揮したり、他者と連携・協力して活動したりできる 12. 学級経営に関する構想力			

【D構想力，展開力，評価力等】学級経営の在り方に関する基礎的な知識を身に付けており，学級等の集団及び集団と個のかかわりなどについて構想することができる

13. 生徒指導に関する構想力

【D構想力，展開力，評価力等】個々人の発達課題の把握や問題行動及びその対応等の理解を深めるとともに，積極的な生徒指導の在り方について構想することができる

14. 教材分析力及び授業デザイン力

【D構想力，展開力，評価力等】教材を分析する能力を身に付けており，教材研究にもとづいて授業をデザインすることができる

15. 授業展開力及び授業評価力

【D構想力，展開力，評価力等】基礎的な教育技術や教育評価について理解し，それを活かした授業実践と，授業の評価・改善を行うことができる

16. 情報収集力，分析力，活用力

【D構想力，展開力，評価力等】情報を収集し，整理・分析することを通して，その情報を活用していくことができる

18. 各教科内容の基盤的知識の理解及び技能の習得

【E教科領域等の内容理解】教科内容の背景となる学問領域について，基盤的な知識や技能を身に付けている

アクティブ・ラーニング

グループ・ディスカッション；

プレゼンテーション；

振り返り（ミニッツ・ペーパー等）；

アクティブ・ラーニング（その他）

アクティブ・ラーニング（授業回数）

8回中8回

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他

授業形態（対面・遠隔）については、コロナウイルス感染症の影響、その他の理由により変更する場合がある。